

令和2年度 福岡市農家意識調査結果

- 1 調査地域 JA福岡市、JA福岡市東部管内
- 2 調査対象者 正組合員
- 3 調査戸数 3, 275 サンプル
有効回収数 1, 880サンプル
- 4 調査方法 直接配布・回収
- 5 調査期間 令和2年7月～11月
- 6 設問数 5問

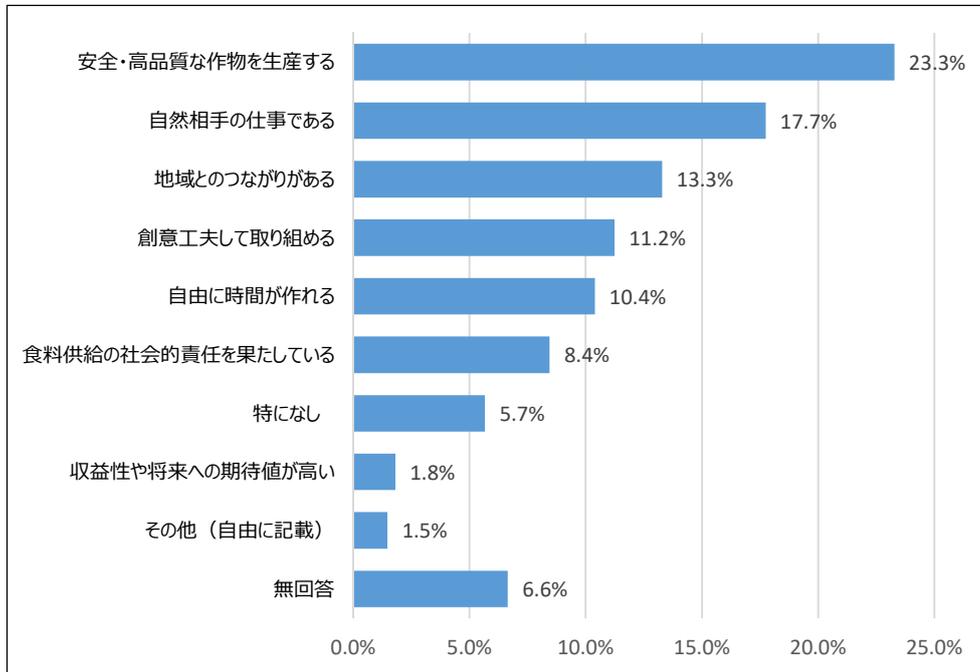
【調査項目】

<農業>

- あなたが感じる農業の魅力とは何か。
- 農業経営で大切にしていることは何か
- 今後力を入れていきたい取組みは何か
- 5年後の農業経営についてどのように考えているか
- 福岡市の農業政策に期待することはどんなことか

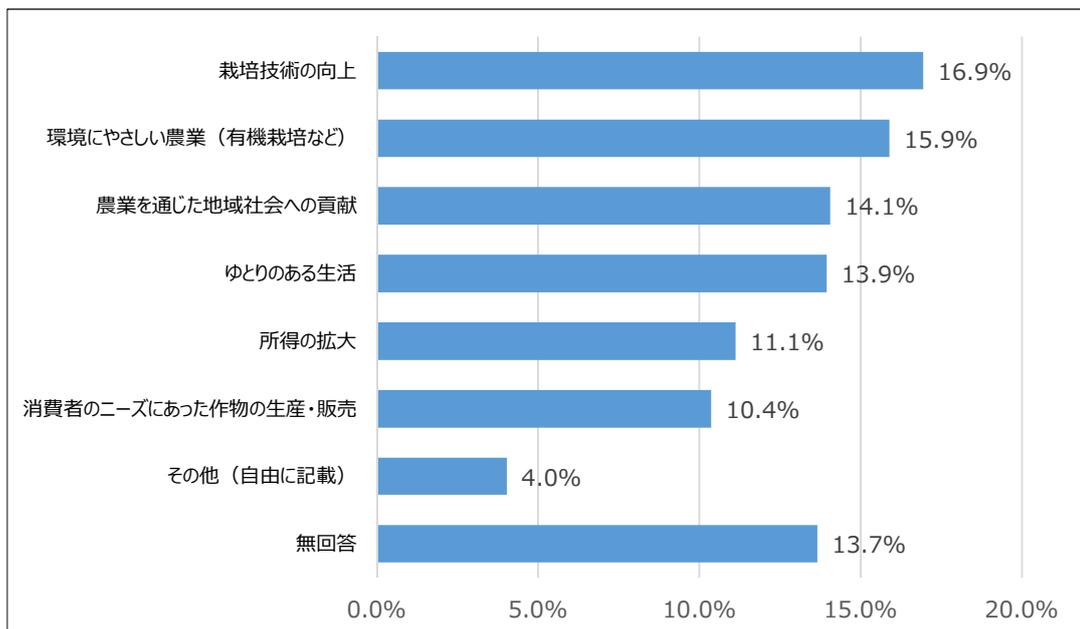
問1 あなたが感じる農業の魅力とは何ですか。あてはまるものを、順番を決めて3つ選んでください

自身が感じる農業の魅力を聞いたところ、「安全・高品質な作物を生産する」が23.3%と最も多く、次いで「自然相手の仕事である」（17.7%）となっている。



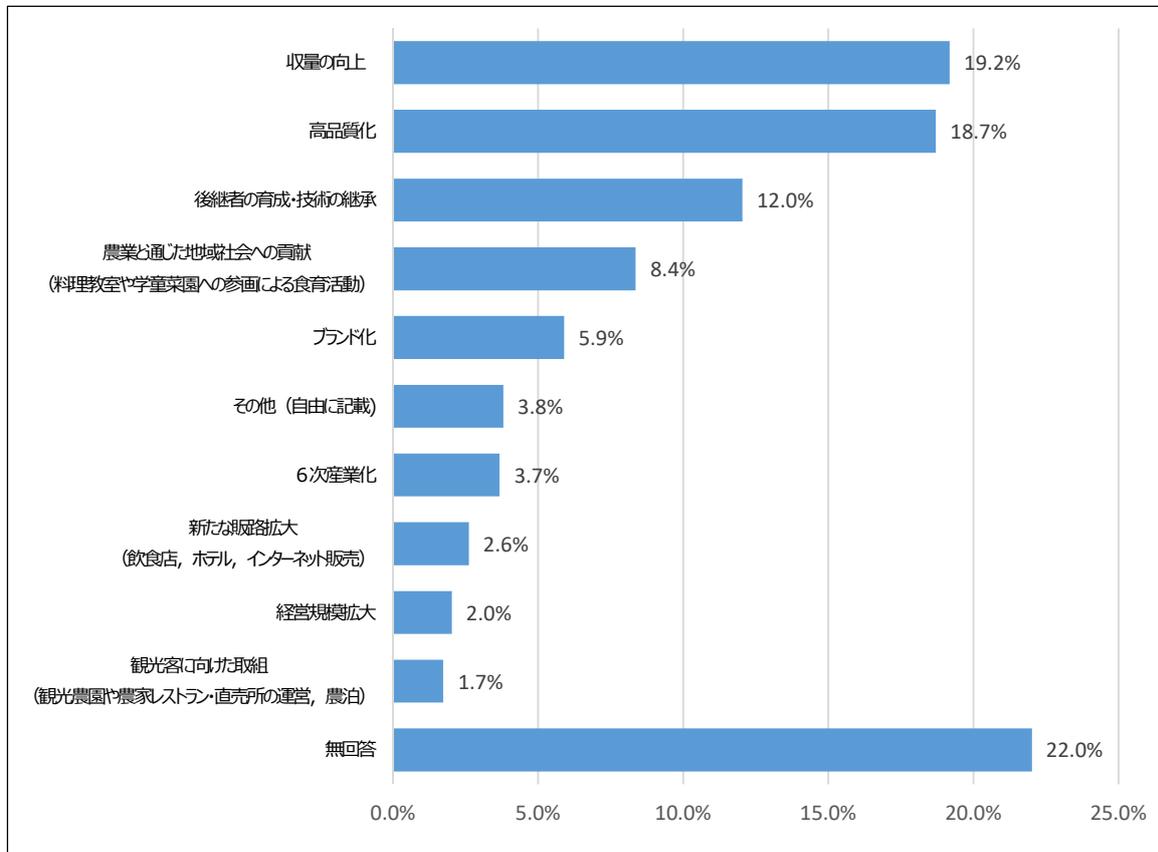
問2 あなたが農業経営で大切にしていることは何ですか。あてはまるものを、順番を決めて3つ選んでください。

農業経営で大切にしていることを聞いたところ、「栽培技術の向上」が16.9%と最も多く、次いで「環境にやさしい農業」（15.9%）、「農業を通じた地域社会への貢献」（14.1%）、「ゆとりある生活」（13.9%）となっている。



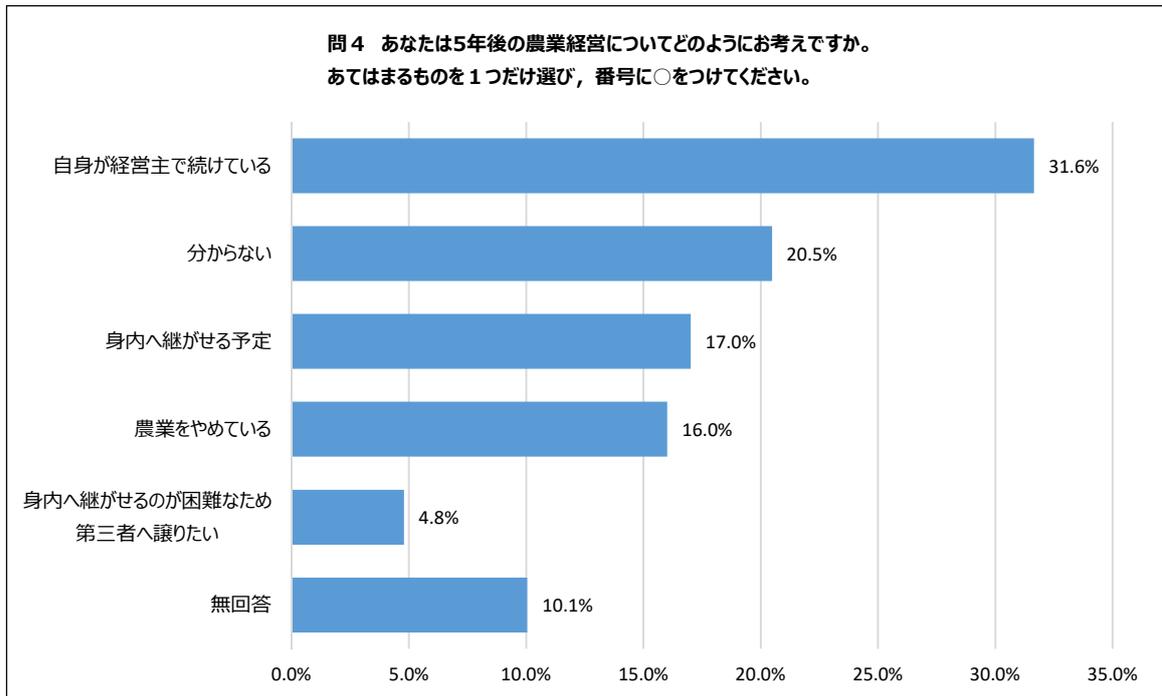
問3 あなたが今後力を入れていきたい取組みは何ですか。あてはまるものを、順番を決めて3つ選んでください。

今後力を入れていきたい取組みを聞いたところ、「収量の向上」が19.2%と最も多く、次いで「高品質化」（18.7%）、「後継者の育成・技術の継承」（12.0%）となっている。



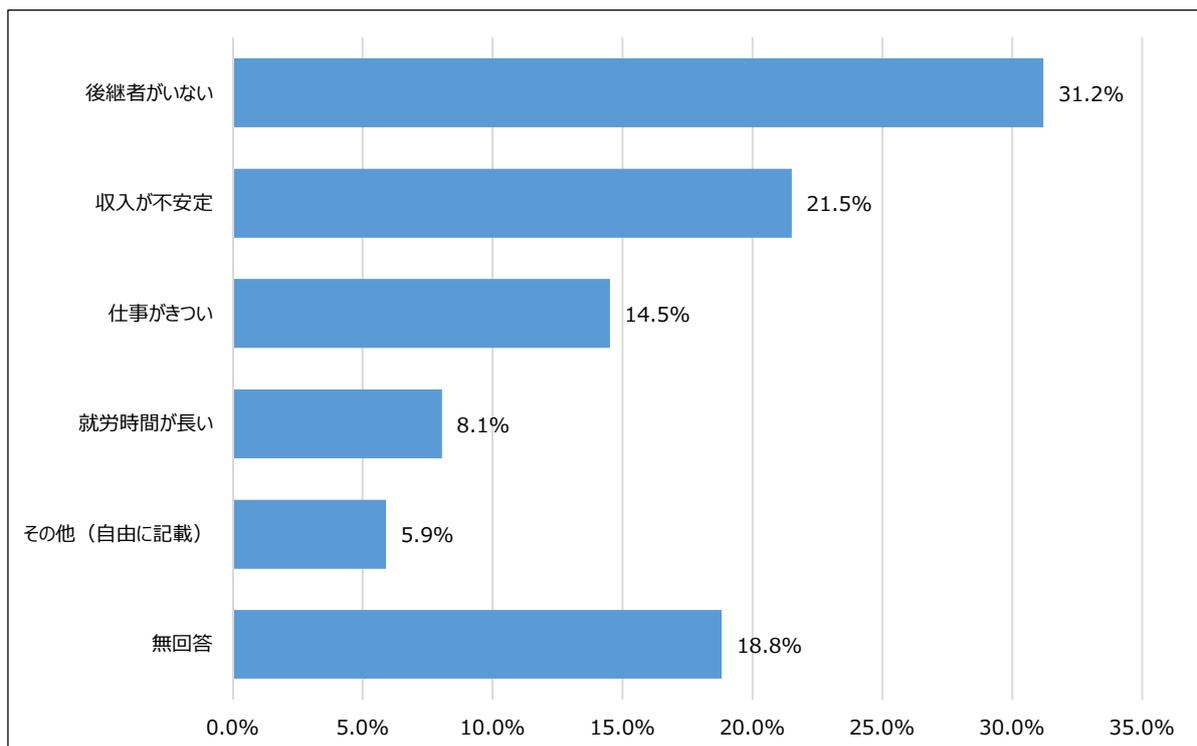
問4 あなたは5年後の農業経営についてどのようにお考えですか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

5年後の農業経営についてどう考えているか聞いたところ、「自身が経営主で続けている」が31.6%と最も多く、次いで「分からない」（20.5%）となっている。



問4-1 (問4で「身内へ継がせるのが困難なため、第三者へ譲りたい」「農業をやめている」「分からない」を選んだ方)
その理由にあてはまるものを、順番を決めて3つ選んでください

身内へ継がせるのが困難、農業をやめている、分からないを選んだ理由を聞いたところ、「後継者がいない」が31.2%と最も多く、次いで「収入が不安定」（21.5%）となっている。



問5 福岡市の農業政策に期待することはどんなことですか。あてはまるものを、順番を決めて5つ選んでください。

福岡市の農業政策に期待することを聞いたところ、「農業経営安定のための支援」が14.3%と最も多く、次いで「担い手の育成」(11.8%)、「食の安全・安心への対策」(7.3%)、「新規就農者の確保」(7.1%)、「地産地消や食育の推進」(6.4%)となっている。

